

秋葉区 新関コミュニティ協議会

活動名：災害に強い福祉コミュニティづくりの推進 新関「防災の日」の制定

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

これまで自主防災訓練の反省から、新関地域独自の「防災の日」が必要との声が出る。
毎年6月の第4日曜日「新関防災の日」と位置付ける。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

毎年6月の第4日曜日を「新関防災の日」と位置付けることにより地域住民の防災意識の継続高揚を図ることにした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

自主防災担当者会議を開催し、「新関防災の日」の趣旨や目的の理解を図った。
当日は、青色パトロール隊並びに地元消防団の協力を得、パトロール車、消防自動車地域を巡回し、防災意識の啓発に取り組んだ。
また、事前に全家庭に配布した「緊急情報キット」の書き込み（医療情報・緊急連絡先等）や冷蔵庫への保管を促した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

民生委員 地域ボランティア 消防団

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

新関地域の「防災の日」を定めたことにより、地域全体で防災に取り組む姿勢が浸透した。
「防災の日」に合わせ、防災訓練を実施した自治会が出てきた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

「防災の日」時期の時節設定に苦労した。
地域住民の繁忙の度合い、地域行事の兼ね合いなど。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

新関地域の「防災の日」が地域住民に理解され、より防災意識が高まるようにしていきたい。
「防災の日」の日に合わせ、新関地域一斉の防災訓練を今後模索していきたい。
「避難所運営マニュアル」は、適宜見直しを行い、より実践的なものにしていきたい。
小学校や保育園と連携した防災訓練のあり方をさらに検討し、子供たちの安全確保に努めたい。



秋葉区 満日コミュニティ協議会

活動名：満日声かけ訪問活動（一人世帯への声かけ見守り活動）

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

少子化や高齢化率が進捗する現状から、当地域における高齢者も多くなってきています。このことから、特に一人世帯における高齢者の健康や安全面などに注意をすることが大切であり、それには地域とのかかわりがなくてはなりません。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

声かけ見守り活動を通して、いつまでも住みなれた地域で、みんなが元気で安心して暮らせるような地域づくりが大切である。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

民生委員との活動の連携・協力を図り、毎月上旬に一人世帯で、70歳以上の高齢者又は、特別に声かけが必要な世帯（老々介護世帯）にティッシュペーパー1箱を持って訪問する。

・対象者は、現在22名（七日町10名・満願寺12名）で、活動メンバーは6名で行っています。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

訪問する世帯では、言葉のふれあいを心待ちにしており、本人の安否確認ができる。

困っていることについての状況把握ができる。

訪問活動で、会話をする楽しさから一人暮らしの方の安心感につながる。

地域の実態について、再確認することができました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

訪問する家庭には、この活動の主旨を説明し、理解を得たうえで活動を行いました。

活動メンバーは、絶えず聞き役に徹し、元気づけ・目配り・気配りを心がけています。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後も誰もが安心して暮らせる地域を目指し、個人のプライバシーを守り、地域で見守ってゆく活動として、継続してゆきたいと考えています。

秋葉区 新津西部コミュニティ協議会

活動名： 親子そば打ち教室

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

以前は町内運動会や相撲大会などは地域の子供たちが計画実施し、大人が手伝いをしていました。近年は親が計画実施し、子供たちが参加する形式が多くなり、親子で協力し合う事業が殆ど無くなってしまい地域間親子のコミュニケーション不足になっています。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

親子で一緒にできる事業を行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

粉から練った手打ちそば打ちを行い、それを皆で食する教室を開催。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

山谷町2・3丁目わんぱく会（H12年度地域PTA）

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

自分で作って食べる美味しさと、食の大切さを親子で再認識できた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

そばを切る時、包丁で指を切らないか等の怪我防止対策に気がつかいました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

各地域で実施している良い活動を他の地域に水平展開していきます。



秋葉区 新関コミュニティ協議会

活動名：新関地域に笑顔と元気と夢を届けるために

新関地域の探索マップ「しんせき夢マップ」と地域めぐり

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

少子高齢化が進み、また、中学校も統廃合となり地域全体に活気が乏しくなっていた。

新関コミュニティ協議会発足以来、地域の活性化のための施策を検討してきたが、その過程で、新関地域の歌（ご当地ソング）作りとともに、地域を知り過去から現在、未来につなげることを目的とした新関地域の探索マップづくり（しんせき夢マップ）を考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

マップを使った地域めぐりを計画することにより、地域理解の一助としたい。

一層の地域愛を育てたい。

新関小学校児童の地域学習（総合的な学習の時間）に役立てたい。

他地域の人からも新関を知ってもらおう機会にしたい。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

知っているようで知らない地域の歴史や文化、風俗習慣、食文化や教育などを掘り起し、地域理解に役立つようなものとして作成した「しんせき夢マップ」を片手にした地域めぐりを計画し実践した。

小学校の地域学習に地域の文化財などの説明役を行った。

各種団体の新関めぐりに、案内や説明、また資料提供を行った。

第2回ふるさと講演会を実施、地域のアピールに努めた。

地域めぐりに役立ててもらおうため、看板や案内板を作成し設置した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市 新津地区公民館 秋葉区コミ協連絡協議会 各自治会 新関小学校 おひさま保育園

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域住民はもとより、他地域からの見学者などが増え地域理解に役立った。

新関小学校児童の地域学習に大いに役立った。

地域に看板等が設置されたことにより、地元住民の意識高揚につながった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

見学者のための資料作りなどでそれなりの苦労があった。

案内看板等の作成はすべて手作りであったが、応援部隊の協力で設置できた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

マップに掲載されなかった様々な資料を整理し、補助資料として残したい。

今後もマップに折り込んだ内容等を中心に「ふるさと講演会」などを実施する。

小学校児童がマップを活用するにあたっては、継続的に支援を行う。

地域のガイド役的な人材の育成も必要である。

他地域からの人呼び、新関を知ってもらおう機会を継続していきたい。



秋葉区 新津東部コミュニティ協議会

活動名： さくらフェスティバル in 一之堰

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域住民のコミュニケーションの不足と、コミュニティ協力体制が弱い。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

「さくらフェスティバル in 一之堰」を開催することによって、準備作業・話し合い等の取り組みを通して、コミ協の一体化と地域住民の絆を強めたい。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

地域内の民謡・芸能団体・サークルの方々から協力を得て、芸能発表の場を開催した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

自治会・町内会単位で、作業の役割分担を決めて取り組んだのは初めてであった。相互の連携が十分とまではいかなかったが協力体制が構築されたのではないかと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

「さくら」「天候」等の条件のなかでの活動であったので、開催実施の可否や、短期間の準備で来場者への周知・PR活動に十分な対応ができなかった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域伝統芸能の伝承、地域間の協力体制の強化。
交流の促進に向け綿密な企画、打合せ等の早い時期からの計画が必要である。

秋葉区 阿賀浦コミュニティ協議会

活動名：地域交流事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

コミュニティ協議会ができてまだ年が浅く、すべてのスポーツ、祭りごとは各町内で行っていたことを、5町内の絆を深めるために（ゲートボール、ソフトボール、盆踊り大会、芸能祭等）を始めました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

多くの人に参加してもらうため、各町内の各団体の方より知恵を出し合い、皆さんが楽しめるよう目標を設定しました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

活動ごとに阿賀浦コミ協だより、掲示板の利用、回覧等でPRし、多くの人たちに注目していただきました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特にPTAを含む全団体

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

今までは5町内が各町内で行っていた全てのことが一つになり、大きな町内ができ、皆さんの顔が近くなり、親近感が生まれます。何事にしても他の町内の良いところを取り入れるようになりました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

活動を始めるときは助成金を活用し、うまくいったが26年度は助成金がなくなって心配です。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

毎年行っている行事を継続することが一番大切。

